

れんけい だより

Vol. 77

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdGVer.1.1)



院内災害訓練を終えて

CONTENTS

部長就任のご挨拶 放射線治療科 … P 2

部長就任のご挨拶 整形外科 …… P 3

医療を、紡ぐ
～病院と地域が協力して医療を紡いでいく～ …… P 4

院内災害訓練を終えて …… P 5

縫合・結紮 タイムトライアルを終えて … P 6

医学教育部 2022年度 修了式 …… P 7

第36回
救命救急症例検討会 …… P 8

TOPICS
第5回 医療従事者研修会 …… P 9

病院連携会議 …… P 10

YKHアワード …… P 11



部長就任のご挨拶

Greeting of chief director assumption

放射線治療科

田山 芳史

Yoshibumi Tayama

がん治療の三本柱のひとつ、放射線治療をより太く！
横須賀・三浦のがん治療を支えます。



放射線治療科 部長
田山 芳史

4月に、放射線治療科部長として着任しました、田山芳史と申します。聞き慣れない響きかもしれませんが、新しくできた科なのです。「放射線治療科」を作るあたりから、「がん治療を盛り上げて行くぞ!」という横須賀共済病院の本気を感じ取っていただければ幸いです。

正直に申し上げます、これまでは、機械の性能面で県内他施設に後れを取っていました。それにより、横須賀・三浦医療圏の患者さんが、他の地域に流出するという悲しい事態が起きていました。

この度、県内でも最高級の治療機械を導入することができ、4月から稼働しています。今後、そのスペックを存分に引き出し、がん診療連携拠点病院の名に恥じぬレベルの高精度放射線治療を提供していきます。どうぞご期待ください。

Profile

出身校 横浜市立大学 平成13年(2001年)卒

専門分野 放射線治療全般 特に、IMRTや定位放射線治療などの高精度放射線治療

認定資格 医学博士 / 放射線治療専門医 / 日本医学放射線学会指導医 / がん治療認定医

整形外科

東 貴行

Takayuki Higashi

最新の整形外科治療を患者さんに実践することを目指します。



整形外科 部長
東 貴行

2023年4月より、江畑功部長の後任として整形外科部長を拝命いたしました東 貴行(ヒガシタカユキ)と申します。昨年度当院整形外科は約1300件の手術件数をこなしており、右肩上がりに件数が伸びています。これからの横須賀共済の整形外科は、今まで豊富な治療経験を誇った脊椎疾患、外傷について、さらに最新の治療法を導入し、高いレベルの治療を行っていきます。人工関節やスポーツなどの疾患にももちろん対応していきます。

引き続き皆様から信頼していただけるよう、全力で頑張ります。どうかよろしくお願い申し上げます。

Profile

出身校 山梨医科大学(現山梨大学) 平成10年(1998年)卒

専門分野 脊椎外科、重症外傷、スポーツ外傷

認定資格 医学博士

日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会 指導医
脊椎脊髄外科専門医
日本スポーツ協会認定スポーツ医
難病指定医
身体障害者福祉法第15条指定医

医療を、紡ぐ

～病院と地域が協力して医療を紡いでいく～



2011年3月11日に発生した東日本大震災により、新地町は震度6強の地震、大津波により甚大な被害を受けました。

人も物も不足し、混乱が生じ、さらに町民の安心安全のためになくてはならない医療体制に不安が残る中、横須賀共済病院の皆さんには、震災直後の3月26日から、医師2名、看護師2名、薬剤師1名の医療団として、4月15日までの間、仮設診療所及び避難所での巡回診察など様々な救護活動にご尽力いただき、あらためて感謝と御礼を申し上げます。

震災から12年が過ぎ、町では全国から支援を受けながら、被災者の生活再建に取り組み、着実にその歩を進めています。今後とも町民の安心安全なまちづくりに向けて、全力で取り組んで参りますので、引き続き、病院と地域が協力して、医療を紡いでまいりましょう。

福島県新地町
大堀 武 町長



2023年1月26日 大堀町長が当院を訪問されました。

2022年度

院内災害訓練 を終えて



防災・災害対策委員会
中央手術室
速應 潤子

横須賀共済病院では年に2回の実働的な災害訓練を行っています。今回、院内火災をテーマに①火災時の初動を知る②少人数で行える避難用具を使用した患者さんの水平移動、垂直移動を体験する訓練を行いました。

まずは、病院火災の基礎知識として、院内の実例を踏まえながら講義を行いました。

その後、机上による火災初動訓練、新しく院内採用になった避難用具での体験訓練を行いました。事前に自部署の消火設備の場所を確認してからの参加のため、部署の特色などの情報交換を活発に行っていました。

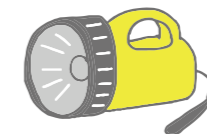
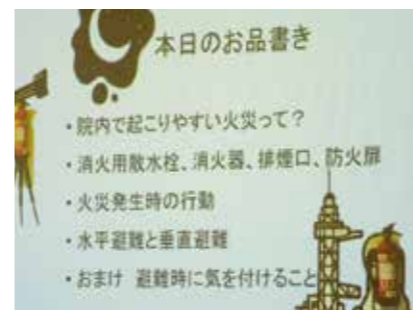
参加者から実際に体験ができてよかった、イメージしやすかったな

どの高評価が聞かれました。

私が訓練を行う際に心掛けていることは、災害時のイメージが出来、参加する全てのスタッフが楽しく訓練することです。楽しく参加することで災害時に重要な『顔の見える関係』が出来やすくなります。

そして、継続的に訓練を行う事で、地域災害が起こった際にも院内の多職種や地域との連携も円滑になると思います。

今後もたくさんの協力を得ながら参加しがいのある訓練を計画していこうと思います。



縫合・結紮

タイム トライアル

を終えて



ルール

測定は1人につき3回まで！
優勝のチャンスは参加者全員にあります。

2023年1月18日、医学教育部・
内視鏡手術センター委員会にて、
開催しました。

1月18日、産婦人科の先生方ご指導のもと腹腔鏡を用いた縫合・結紮トレーニングが開催されました。

以前にも外科主催で腹腔鏡トレーニングにも参加していたため練習の成果を出す絶好の機会でした。結果的に研修医内ではありますが優勝することができ、練習の成果を発揮できたと大変嬉しかったです。ただ、時間を計測されて行うとどうしても速さにこだわってしまい丁寧な縫合ができていたとは言い難いものでした。実際の上級医の先生の手本を見させていただくと糸の置き方一つとっても次を見越した動き方をされており、速さかつ正確な縫合をされ感銘を受けました。

今後この実習の機会に学んだことを活かし、実際の執刀の際に正確かつ短時間で縫合できるように、院内の内視鏡手術トレーニング室等を利用して精進していきたいと思っております。



優勝者

初期研修医2年目
伊沢 友憲



医学教育部 2022年度修了式

当院の初期臨床研修を修了した13名
(医科12名、歯科1名)を対象に、
2023年3月24日開催しました。

「初期臨床研修から外科専門医を目指して」



外科
前田 直紀

この度横須賀共済病院初期臨床研修プログラムを終了し、さらに3年間外科後期研修でお世話になる前田と申します。

この病院での2年間の研修は非常に刺激的なものでした。上級医や医療スタッフの方々の医療に取り組む真摯な背中を見ながら日々の診療業務に邁進し、時に救急外来の多忙に涙し、仲間とそれを分かち合った日々は一生の思い出です。

この2年間で得た知識や経験はもちろんのこと、共に戦った研修医の同期や尊敬できる上級医の方々とのつながりは今後の私の医師人生の礎となるものと確信しております。これからの3年間は研修医同期4人と共に横須賀共済病院のスタッフとなります。今まで背中を追い続けていた先輩方に少しでも近づけたのはなんと幸せなことでしょうか。多くの物を授けて頂いたこの横須賀に恩返しすると共に、後輩にかっこいい背中を見せられるよう日々尽力していく所存であります。

ご寵愛を頂ければ幸いと存じます。



救命救急症例検討会

2023年2月14日に当院講堂にて、救命救急症例検討会を開催しました。

本検討会は、日頃の救急症例を題材に、救急隊病院前活動や搬送後病院治療を相互に提示し当該症例での問題点や、日々進む中での標準治療を検討する勉強会です。

症例1 急性下肢虚血の症例



循環器内科
池田 博



逗子消防本部 救急救命士
村野 好孝

症例2 意識障害として搬送され、後に有機リン中毒が判明した症例



救急科
山本 翔太



横須賀市消防局
三春町救急隊

症例3 遅発性に急変を来した小脳梗塞の一例



脳神経センター
脳神経外科
小倉 将



葉山消防本部 救急救命士
鈴木 博文

感染予防対策として前回まではハイブリット開催としていましたが、制限緩和に向けて少しずつですが動き始めました。今後も対面で、救急隊との情報共有の場としてこの会を続けていけたらと思っています。



医療従事者研修会

2023年2月16日

認定看護師による、医療従事者研修会をWEB形式で、開催しました。

第1部 在宅で心臓疾患の患者を介護する家族の支援



慢性心不全看護認定看護師
榎本 郁子

地域の皆様には、平素より大変御世話になっております。
昨今の少子高齢化による心不全パンデミックを背景に、在宅で療養する高齢心不全患者が増えています。患者さんは増悪予防の為、様々な自己管理行動を求められますが、困難な事が多く、ご家族が支援・代行しているのが現状です。ご家族の役割は個々により異なりますが、重要かつ負担が大きな場合が多く、健康面や社会経済面に問題をかかえている事があります。ご家族の問題は患者さんの状態に直結するため、家族支援は大変重要な課題ですが、まだまだ確立されていないのが現状です。
今回の研修会を切っ掛けに、入院中からご家族を含めた療養支援の構築を考え、地域とともに取り組んでいきたいと思っております。

第2部 透析を行っている人への生活支援を考える

地域の皆様には、平素より大変お世話になっております。この度は多くの方にご参加頂き心より感謝申し上げます。
私からは、「透析を行っている人への生活支援を考える」をテーマにお話させて頂きました。血液透析を受けている人は1回4時間の治療を週3回、医療機関に通院しながら日々の生活を送っています。透析療法は腎臓の働きの一部を代替わりしているに過ぎないため、透析を受ける他にも、自宅で食事の制限や水分管理、内服管理など様々なセルフケアを必要とします。病院スタッフでは手の届かない部分であり、地域の皆様や多職種の助けを必要としている部分でもあります。透析を受けながらも楽しく健やかな生活が送れるように一緒に考えられましたら嬉しいです。



透析看護認定看護師
清水 真紀

第3部 治る褥瘡と治りにくい褥瘡の見分け方 ～適切なケアの提供を目指して～



皮膚・排泄ケア認定看護師
阿部 貴子

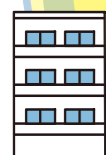
地域の皆様には、平素より大変お世話になっており、また日々ご多忙の中、研修会にご参加いただきまして、ありがとうございます。
今回は褥瘡の創のみかたや改善・治癒へとつなげるために必要な創環境についてお話させていただきました。特に創環境を整え創傷形成予防にもつなげる「Wound hygiene (創傷衛生)」は、Hand hygiene (手指衛生) などと同じく、日常的に習慣化して行っていくことが必要とされています。地域には褥瘡やストーマを保有する患者さんも多くおられます。地域の皆様と連携させていただき、一緒に患者さんや利用者様の皮膚を守っていければと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

病院連携会議



2023年3月22日

当院を含む18病院が、講堂に集まり現状報告や今後の連携活動について話し合う会議を開催しました。オブザーバーとして、横須賀市医師会理事の秋澤医師にもご参加いただき有意義な会となりました。



- 衣笠病院 聖ヨゼフ病院 三浦市立病院
- 金沢文庫病院 済生会若草病院 金沢病院 湘南記念病院
- 鎌倉病院 よこすか浦賀病院 パシフィック・ホスピタル 湘南病院
- 葉山ハートセンター 清川病院 横浜なみきリハビリテーション病院
- クローバーホスピタル 横須賀市立市民病院 横須賀市立うわまち病院
- 横須賀共済病院

病院連携会議に参加して



昨年12月より、横須賀市医師会として横須賀共済病院にて開催されている病院連携会議に参加させていただいております。

会議の話題は COVID19 を含む感染症に対する病院間連携対策の報告と確認、高齢者を焦点とした診療とその連携、三浦半島地区の経営面を含めた医療将来像とそれへの備え等、多岐にわたります。独立した設立主体の医療機関が方向性を同じくそれぞれの役割を担っていく様は、まさに地域医療構想の主眼とされていることを実践されているように感じます。

ただ、診療所から見ればやはり敷居高く一般の方々にとってはなおのことと思われま。地域の皆さんに寄り添いながら患者さんの

ニーズに応えられるよう、病院連携の体制を整えていく必要があります。

病診連携を通じた的確な診断を行い適正な治療を迅速に提供できるという点でも、我々にも患者さんにも非常にメリットがあります。今後も医療連携の輪を広げながら、患者さんと医院を繋ぐ開業医として、地域医療を守り活性化させていく為に尽力していきたいと思っております。

横須賀市医師会 理事
秋澤 暢達

YKHアワード

2023年3月16日

勤務向上委員会

2022年度YKHアワードを開催いたしました。過去4年間48の団体・個人に贈られてきましたが、2022年度は、例年以上の54の団体・個人に贈られました。コロナ禍で大変な中、たくさんの自薦・推薦をいただきありがとうございました。

今年は参加制限を解除でき、多くの方々にお越しいただきました。みんなで「ありがとう」「おつかれさま」を言える会場は、笑顔あふれる会になりました。受賞された団体、個人の皆様おめでとうございます。そして、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



勤務向上委員会 委員長
田中 良英

YKHアワード「ベストスマイル賞」を受賞して

2022年度はちょうど勤続30年の節目の年で、このような賞をいただくのはうれしくもありとても名誉なことですが、褒められることが普段ないせいか、なぜ私??? と思ってしまうのも事実です。

ですが、いただいたからには患者さんや私と関わる全ての方に元気をお届けできるよう口角を上げて(マスクで見えませんが)今まで以上に精進してまいります。ありがとうございました。

医療秘書科
古屋 麻由子



新入職員オリエンテーション 2023年3月31日

横須賀共済病院に183名の新たな仲間が加わりました。
期待と不安が入りまじる中、ハイブリット形式による
「新入職員オリエンテーション」を開催しました。



退職者 2023年3月31日付

- 呼吸器内科 … 渡部 春奈、澤田 淳
- 呼吸器外科 … 菅原 海
- 消化器内科 … 田中 志尚、普天間 朝久、芦川 智久
- 外科 … 南 裕太、渡邊 活、今西 康太、竹下 裕介、竹之内 晶、矢後 彰一、下澤 元晴
- 腎臓内科 … 高橋 郁太、田中 佑樹、安原 遼
- 血液内科 … 中牧 尚子
- 内分泌糖尿病内科 … 飯島 貴宏
- 循環器内科 … 橋 伸一
- 脳神経内科 … 野中 一哉、金 亮秀、佐藤 旺士郎
- 脳神経外科 … 小倉 将
- 小児科 … 望月 優暁、林邊 廉、林 亜揮子、山下 舞子

- 整形外科 … 江畑 功、川上 誉門、若山 悠介、北澤 哲史、井上 徹彦、宮川 秀俊、齋藤 魁
- 形成外科 … 鈴木 沙貴
- 皮膚科 … 袋 幸平、久保 玲子、茂木 いづみ
- 泌尿器科 … 沼田 泰裕、松岡 充晃、林 悠大朗
- 産婦人科 … 古野 敦子、山崎 萌、月永 理恵
- 眼科 … 井口 聡一郎
- 耳鼻咽喉科 … 古川 駿、相澤 圭洋、逆井 清
- 救急科 … 嶽間澤 昌泰、道下 貴弘、水上 紗緒里、山本 翔太、松尾 璃瑠子
- 麻酔科 … 高橋 奈央、堀川 華子、加藤 莉帆、望月 友樹
- 放射線科 … 酒井 容堂、伊川 瑞希、竹内 結花

理念

よかった。
この病院で

患者さん・家族・職員
すべての人が安心できる
病院をめざします

編集後記

夏のような力強い日差しが続き、今年の夏も猛暑になりそうですね。

さて、今回号の表紙には“チューリップ”を掲載いたしました。チューリップは花びらの色が豊富で、見ているだけで心を楽しませてくれます。咲き終えた次の年にも、美しい花を咲かせてくれると言われていますが、環境の変化によって花びらの色が変わることがあるそうです。どの色に変化してもまっすぐ咲く姿には、清廉とした美しさがあります。

年度が替わり変化の多い季節ですが、未来に焦点を当てまっすぐ向き合うことで、魅力的な未来につながるのではないのでしょうか。

本年度も、横須賀共済病院とれんけいだよりをよろしく願いいたします。

地域連携室 宮坂・加藤

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16
TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)

地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117(直通) FAX 046-823-5020(直通)

YKH れんけいだより

Vol.77

発行日：2023年(令和5年)5月29日

編集：地域連携センター地域連携室